

本校は「世界と向き合うユネスコスクールとして私たちができること」をテーマとして持続可能な社会の実現のために、学年ごとに SDGs の 17 の目標の中から 1 つ目標を選択し、望ましい価値観、優れた行動力の育成を目指し、**地域活動 総合的な学習の時間 国際理解学習**に取り組んでいます。

1. 地域活動

1・2・3年生は、校区特産の「枝豆」「ホウレンソウ」「大根」の播種から収穫までを体験する中で地域の特産物を知る活動を行っています。また、2年生は、地域の避難場所、3年生は、地域の公園環境整備について関心を深め、4年生は、環境を保護していくための理解を深め、自分たちのできることとして、「雑がみリサイクル」や「デコ活」に取り組んでいます。

2. 総合的な学習の時間

学年毎に「問題を解決するための活動を工夫し、実行する」「やり遂げる喜び、人の役にたつ喜びを味わう」ことをねらいとしています。

3年生は、「ふるさと『島』を愛し、自分たちができることとして、地域清掃や公園の花壇づくりに取り組みました。4年生は、企業や市役所環境保全課の方から未来を守るために必要（雑がみリサイクル、デコ活）なことについての話を聞き、自分たちでもできることを考え実践しました。5年生は、高齢者体験や高齢者施設の方の話、高齢者との交流か

ら暮らしやすい街づくりについて考えました。6年生は、岐阜市の魅力について調べ、自分たちが住んでいる岐阜市を守り続けていく必要があることを全校に広めました。

3. 国際理解学習

世界の子供の現状を知り、自分たちにできることを考え、行動できる力を付けることをねらいとしています。学習委員会が中心となり、全校児童に世界の子供たちの現状を伝え、文具や書き損じはがきの回収を全校に呼び掛け、岐阜県ユネスコ協会を通じてカンボジアに届けます。また、今年度も、全校で育てた枝豆を地域の人たちに販売して得た収益金の一部を寄付しました。

来年度の活動計画

- 4月 ESD活動の計画作成、校内研修（今年度の活動の周知）
- 4月～7月 「えだまめ活動」の実施（学年での計画、播種・移植・収穫）
市・企業と協力して枝豆を使った商品の開発
- 5月～ 各学年の総合的な学習の時間の実施
- 12月 ユネスコ活動発表会での報告、中間発表会、交流会、地域への発信
- 12月～3月 カンボジアへ文具等を届ける活動

添付写真

R7年度

1年



2年



3年



4年



5年



6年



学習委員会

